

森林ボランティア

森守会

平成28年度活動記録

目次

活動概要	4
青梅の森 活動報告.....	10
平成28年4月9日(土)	11
平成28年6月23日(木) 雨天中止	13
平成28年7月28日(木) 見学参加、体験ボランティア	14
平成28年8月25日(木) 体験ボランティア	16
平成28年10月8日(土) 雨天・ミーティング	19
平成28年10月27日(木)	20
平成28年11月24日(木) 降雪中止	22
平成29年2月11日(土)	23
平成29年3月23日(木)	25
虎柏神社の森 活動報告.....	28
平成28年4月21日(木)	29
平成28年5月14日(土)	31
平成28年7月9日(土) 雨天中止	33
平成28年8月13日(土)	34
平成28年9月10日(土)	36
平成28年11月12日(土) 芋煮会	38
平成28年12月10日(土) 忘年会	40
平成28年12月22日(木)	42
平成29年1月7日(土)	44
平成29年1月14日(土) 黒仁田の森 (育成講座サポート)	47
平成29年1月26日(木) 青梅の森から、虎柏神社の森に変更	49
平成29年1月28日(土) (臨時活動)	51
平成29年2月4日(土) (臨時活動)	52
平成29年2月10日(金) (臨時活動)	54
平成29年2月23日(木) 雨天中止	56
平成29年3月11日(土) 総会	57
技術向上研修会 活動報告	60
平成28年9月17日(土) 青梅の森	61
平成28年10月15日(土) 虎柏神社の森	63
平成28年11月16日(水) 虎柏神社の森	65

目次

平成28年12月17日(土)	虎柏神社の森.....	67
ボランティア育成講座サポート・活動記録.....		70
平成28年12月3日(土)	71
その他.....		73
平成28年6月11日(木)	岩蔵竹林.....	74
平成28年11月4・5・6日	青梅産業観光まつり.....	75
平成28年12月6日(火曜日)	遊々クラブ.....	77
柚保プロジェクト・活動記録.....		79
平成28年6月3日(金)	北谷津.....	80
平成28年8月2日(火)	ホダ木移設.....	81
平成28年9月30日(金)	ヨシ刈り.....	82
平成28年11月28日(月)	ヨシ活用.....	84

活動概要

活動概要

在籍者●●名 延べ参加人員 ●●●名 (H28.XX.XX~H29.XX.XX)

(青梅の森 虎柏=神社の森 育成講座=青梅市森林ボランティア育成講座 数=参加人数)

	=	定例会		=	技術向上研修会
	=	ボランティア育成講座支援		=	柚保プロジェクト

活動日			場所	活動概要	備考	数
28	3	12	虎柏	S 山林斜面・篠竹除伐		31
	3	24	青梅の森	D4 枯損木処理	椎茸収穫(虎柏)	14
	4	9	青梅の森		椎茸収穫(虎柏)	26
	4	10	青梅の森北谷津	椎茸駒うち	柚保 PJ	2
	4	21	虎柏	参道脇古木枝打・S 篠竹刈		13
	5	14	虎柏	S 篠竹下刈り・斜面除伐	新会員歓迎会 PM	30
	5	26	青梅の森	D4 下刈り・枯損木整理		14
	6	3	青梅の森北谷津	ヨシ刈り・根抜き	柚保 PJ	4
	6	1		開校式	ボランティア育成講座	1
	6	11	岩蔵	竹林整備		21
	6	23	青梅の森			0
	7	9	虎柏	作業無(雨天)		0
	7	28	青梅の森	D3・D4 植生調査	虎柏・同時活動	15
	8	2	青梅の森&永山	シイタケホダギ移設	柚保 PJ	3
	8	13	虎柏	竹灯籠設置	暑気払い(PM)	23
	8	13		講座サポート	ボランティア育成講座	4
	8	25	青梅の森	D3・D4 下刈り・除伐	体験者2名	17
	9	10	虎柏	3班 G・S・H 除伐下刈り		22
	9	17	青梅の森	小径木伐倒の安全作業	技術向上研修会 #2	8
	9	30	青梅の森北谷津	ヨシ刈り	柚保 PJ	4
	10	8	青梅の森	安全教育 DVD 学習	作業無(雨天)	10
	10	15	虎柏	広葉樹伐倒の手順と安全	技術向上研修会 #2	7
	10	27	青梅の森	D3 かかり木・D4 枯損木	2班	11
	11	4-6	永山グラウンド	青梅観光産業まつり	展示ブース支援	10
	11	12	虎柏	S・G・H の除伐、除草	3班 芋煮会	23
	11	16	虎柏	斜め木伐倒(チルホール・くさび)	技術向上研修会 #3	4

活動概要

	11	24	青梅の森	作業無(積雪)		0
	11	28	青梅の森北谷津	ヨシ刈り	柚保 PJ	2
	12	3	花木園	竹林整備と炭焼き体験	ボランティア育成講座	7
	12	6	加治丘陵	チルホール運用見学	遊遊クラブ活動見学	2
	12	10	虎柏	S 地区除伐作業	午後忘年会	19
	12	17	虎柏	傾斜広葉樹伐倒	技術向上研修会 #4	5
	12	22	虎柏	S・H 除草・除伐・山肌整理		11
29	1	7	虎柏	大径木伐倒サポート	臨時	6
	1	14	虎柏	大径木伐倒後の跡片付け	安全祈願	15
		14	黒仁田	枝打ち	ボランティア育成講座	3
	1	26	虎柏	Q 地区下刈り・除伐	予定変更・青梅の森	9
	1	28	虎柏	Q 地区伐倒作業支援	臨時	6
	2	4	虎柏	Q 地区伐倒作業支援	臨時	7
	2	7	青梅の森	TCN 作業風景撮影協力	“青梅の森”紹介番組	5
	2	11	青梅の森	D3・D2 地区除伐作業	午後役員総会打合せ	20
	2	23	虎柏	雨天中止		0
	3	11	虎柏			
	3	23	青梅の森			

活動概要

青梅の森 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	4	9	倒木・枯損木整理 下刈り	26	椎茸収穫(虎柏)
	5	26	下刈り 枯損木処理	14	
	6	23	雨天 活動中止	0	
	7	28	植生調査・観察 体験伐倒作業	15	虎柏祭礼用竹狩り
	8	25	下刈り 伐倒・倒木整理	17	事故発生
	10	8	安全教育	10	作業は雨天中止
	10	27	間伐 掛り木処理	11	
	11	24	積雪 活動中止	0	
29	1	26	作業無し 作業地変更	0	虎柏での作業
	2	11	下刈り	20	役員会
	3	23	枯損木・倒木整理 間伐	12	
			出席者累計	125	

青梅の森D3-3、D4-1、D4-2が作業場所であった。

広葉樹が主体となるD4-1側からD4-2側に作業を進め、陽当たりを遮る樹木を中心とした下刈り、及び、枯損木伐倒、倒木整理を行った。

ヒノキが主のD3-3では、傾斜木、枯損木の伐倒作業がメインであった。

虎柏神社の森 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	4	21	下刈り・除草 伐倒・除伐	13	
	5	14	篠竹下刈り 除伐	30	新会員歓迎会
	7	9	雨天中止	0	
	8	13	竹灯籠設置 除伐・伐倒体験	23	暑気払い
	9	10	除草・小径木除伐 下刈り 除伐	22	安全作業注意喚起
	11	12	除草 除伐	23	芋煮会
	12	10	除伐	19	忘年会
	12	22	除伐 除草	11	
29	1	7	大径木伐倒	6	臨時活動

活動概要

	1	14	倒木整理 椎茸原木作り	15	
	1	26	伐倒	10	青梅の森からの変更
	1	28	伐倒	6	臨時活動
	2	4	伐倒	7	臨時活動
	2	10	伐倒	5	臨時活動
	2	23	雨天中止	0	
	3	11	シイタケコマ打ち 総会	25	総会
			出席者累計	215	

技術向上研修会 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	9	17	手ノコによる針葉樹伐倒	8	青梅の森
	10	15	チェーンソーによる広葉樹伐倒	7	虎柏神社の森
	11	16	逆重心方向への広葉樹伐倒	4	虎柏神社の森
	12	17	登降機による枝打ち・逆方向伐倒	5	虎柏神社の森
			出席者累計	24	

青梅市森林ボランティア育成講座サポート 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	1	開校式	1	
	8	13	注意事項、及び、道具の説明 小径木伐倒	4	虎柏活動報告(8/13) 参照
	10	8	活動記録は不記載	0	
	12	3	竹林整備と炭焼き体験	7	
	1	14	黒仁田 枝打ち	3	虎柏活動報告(1/14) 参照
	3	11	永山グラウンド北 桜植樹	4	虎柏活動報告(3/11) 参照
			森守会出席者累計	19	

活動概要

安全講習 民家林整備 活動見学 青梅産業観光まつり 植生調査 他 活動記録					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	11	定例会(安全講習)・民家竹林整備	21	
	11	4,5,6	青梅産業観光まつり	10	
	12	6	遊々クラブ(加治丘陵)見学	2	チルホール運用見学
	7	28	青梅の森 D3・D4 植生調査	15	青梅の森(7/28)参照
	5	14	新会員歓迎会	30	虎柏神社・社務所
	8	13	暑気払い	23	虎柏神社・社務所
	11	12	芋煮会	23	虎柏神社・社務所
	12	10	忘年会	19	虎柏神社・社務所

柚保プロジェクト 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	3	北谷津 ヨシ刈り	4	(総勢 10名ほど)
	8	2	永山、青梅の森 B4 ホダ木移設	3	(総勢 10名ほど)
	9	30	北谷津 ヨシ刈り	4	(総勢 15名)
	11	28	北谷津 ヨシ移設	2	(総勢 7名)
			森守会作業累計	13	(総勢 44名ほど)

青梅の森 活動報告

エラー! 参照元が見つかりません。

青梅の森

平成28年4月9日（土）

参加者 26名 活動場所 青梅の森

◆A班

メンバー：6人

午後の途中で1名帰。

場所：D4ゾーン（D3との隣接地）

活動内容 ①不要木のかたづけ

倒木の整理、風雪害木の整理、樫の除伐を行う。

ヒヤリハット：なし

◆B班

メンバー：5人

場所：D3ゾーン

活動内容：未処理木（前回未処理木）の玉切り、倒木の整理、枯損木の整理
沢に傾いた広葉樹の伐倒など

ヒヤリハット：玉切り時、木の跳ね上がりがあり危険を感じた。

安全予防策：木の??を考える

◆C班

メンバー：9人

場所：虎柏神社で椎茸採取、のち、青梅の森D4-1エリア

活動内容：椎茸採取、たくさん収穫、参加者で分ける。

新会員を入れて、低層木の下刈りと風雪害倒木の整理の処理を行う。

ヒヤリハット：斜面で4人が滑った、ケガなし

安全予防策：足場の確認

落ち葉などで滑りやすくなっているので作業現場では足元の安全確認を行う。

◆D班

メンバー：6人

場所：D4-1、分岐沢沿いの上の斜面

活動内容：低層木のヒサカキやアオキなどを除伐

除伐後の場所に倒木多数あり整理する。

フジツルなどの切断、除去など

*ここはすごく荒れている、倒木やフジツルが絡まりジャングル状態なので
夏前に下刈り整備が必要と思う。

ヒヤリハット：伐る人との安全確認

荒れた山では近くで作業している人の安全

安全予防策：周囲の安全確認を行うこと。

青梅の森

平成28年5月26日（木）

参加者 14名

天候 晴れ

活動場所 青梅の森

活動概要 参加者 14名（男11名、女3名）

下刈り班：D4-1エリア・西側、前回に引き続き下刈り・枯損木の処理を行う。

- ・ヒサカキ、アラカシの下刈りと枯損木の伐倒を行う。
- ・虫よけの蚊取り線香器具の蓋が外れ線香が落下、探したが分からず。虫よけ用の蚊取り線香の携帯は外れない、器具を使用してください。山林用の物が販売されているそうです。
- ・林道下の山林は急斜面で危険が高いため、相互に声をかけあいながら作業した方がよい。

枯損木処理班（チェーンソー使用）

- ・林道下（D4-1エリア・東側）の枯損木が長い間、処理できなかったが本日、約7本の大径木、枯損木を処理した。
- ・玉切りの時、チェーンソーの刃が挟み込まれ取れない、上から下から、切断の様子を観察して挟み込まれないようにしないと苦労する。
- ・急斜面に倒れている枯損木は、ロープで固定したり、ズレ落ちないように気を付けながらの作業だった。もっと経験を踏んで安全面を優先する技能を身につけたい。
- ・玉切り中に上側にあった木がズレ落ちてきた、打撲する（軽傷でした）。
- ・下刈りの時に切った切り株の高さが高い、足を引っ掛けたり、処理作業で切り株に引っかかり手間取る。下刈りは地面の表面近くで切るように習慣づけてほしい。

下刈り前



下刈り後



以上

青梅の森

平成28年6月23日（木） 雨天中止

参加者 0名

天候 雨

活動場所 青梅の森

活動概要 青梅の森D4ゾーンの下刈り予定を、昨日来の降雨により中止。
入間市加治丘陵の整備ボランティアの見学も実施せず。

青梅の森

平成28年7月28日(木) 見学参加、体験ボランティア

参加者 14名+1名(見学参加)+2名(高校生夏体験ボランティア)

天候 晴れ

活動場所 風の子・青梅の森

活動概要 青梅の森・風の子広場管理棟前で連絡事項を確認。2班に分かれ、1班は前回雨天中止となった虎柏神社夏の祭礼用の竹刈りを担当、他の1班はD3、D4エリアの森守会の植生観察エリアでの調査と、周辺の植生観察を午前中実施した。雨が多く、キノコの発生が目についた。午後は、見学参加者と体験ボランティアの3名に伐倒作業を体験させた。

青梅の森

植生調査中。手前の檜皮にも小さなキノコ



観察集計と境界ロープの修復



伐倒体験中



光明寺・師岡神社 の裏山付近

整備と併せて竹の利用

枝葉はたたくと簡単にとれる



サイズを合わせて加工中



平成28年8月25日(木) 体験ボランティア

参加者 15名+2名(体験ボランティア)

天候 晴れ

活動場所 風の子・青梅の森

活動概要

伐倒班と除伐、下刈り班2班の3班に分かれての作業。今日も体験ボランティアは

高校生2名、社会人の方1名が参加、社会人の方は入会希望です。

伐倒班はD3-3地区チェーンソーを使って伐倒・倒木整理。除伐1班はD4-2地区

谷右斜面での除伐作業。体験者はこの班に参加。除伐2班はD4-2、D4-3地区

の境界線谷奥の除伐、下刈り作業。

* 傷害事故が発生

原因：立木の伐倒作業中、木に身体をあずけて押して倒そうとして、木と一緒に転倒

・谷へ落下する事故でした。

症状：救急車で病院に搬送、診察の結果、顔面強打ため多発骨折(3箇所)、擦過傷、

目に症状が現れないか様子を見る。

今後の治療：紹介状を書いてもらい、住宅の近くの病院で経過観察と治療を継続する

ことになりました。

事故は不注意、不安全行為から生まれます。安全な方法と手順で、自分と周囲の方に

目を配り、事故を起こさない信念を強く持って、お互いに十分注意して、危険な行為

を避けるように行動してください。

ボランティア保険で医療行為は補填されますが、体に負った障害は自分持ちです。

自分も他人も安全で楽しく活動するために心して精進しましょう。

体験者、サマになってきた？



伐倒木の検討中



作業開始、慎重に受け口刻きぞみ中



除伐班急斜面で奮闘中



大雨で変わった流れの修正中





平成28年10月8日(土) 雨天・ミーティング

参加者 9名+1名(見学者)

天候 雨

活動場所 永山ふれあいセンター

活動概要 当日は予報が悪いのでふれあいセンターにてミーティングを行いました。伐木の基本や安全作業の注意事項、DVDによる伐倒作業の学習をおこないました。

出された意見は、作業は自分や周囲に安全を配慮することの徹底や倒木処理で枝や幹の玉切りを90cmぐらいにして斜面に横にして整理する、基本作業がおろそかになっている。伐木の際地面からできるだけ低く切ることの徹底。などが出されました。

骨折を伴う負傷事故も起きていますので、基本に立ち返って、お互いに気が付いた事は指摘しあって、楽しく、有意義な活動を目指しましょう。

当日、見学者として参加いただいたAさんが会員になりました。よろしくお願ひします。

以上

青梅の森

平成28年10月27日(木)

参加者 11名

天候 晴れ

活動場所 青梅の森D3・D4-2

活動概要 A班はD3エリア人工林内のかかり木処理と間伐。
チルホルの威力を実感しながらの作業であった。枝打ち、間伐作、作業道整備
など、継続の必要あり。D4-1内の植生調査エリアの除草も行う。

A班作業風景

奥かかり木を手前チルホールで処理



倒木整理し、作業道に活用



手ノコで小径木の間伐



植生調査エリアの整備



青梅の森

B班 右側完了、左奥にて作業



作業地点



B班はD4-2エリアの枯損木の伐倒（5本）と留置分を含めた倒木処理。
D4林内、倒木多数有りその処理が中心となった。

フェリングレバーなど必要道具は作業場への搬送は必須。

以上

青梅の森

平成28年11月24日（木） 降雪中止

参加者 0名

天候 雪

活動場所 青梅の森

活動概要 積雪のため、本日の活動を中止した。

以上

2017年1月26日（木曜日） 青梅の森から、虎柏神社の森に変更

参加者 9名+1名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森 青梅の森から、虎柏神社の森に変更
活動報告は、虎柏神社の森を参照のこと

以上

青梅の森

平成29年2月11日（土）

参加者 20名

天候 晴れのち曇り

活動場所 青梅の森

活動概要 一昨日からの寒波で山肌に薄っすら雪の残る条件での作業でした。三班に分かれて D4-3・D4-2 の谷奥と D4-2 作業道下の下刈り間伐を実施する。午後役員は風の子事務所で総会に向けた打合せ。

午後は、日が陰って寒い陽気になりましたが、作業組は汗ばんでの作業、会議組は、暖房の無い部屋で、震えながらの打ち合わせ、けがなく終了。

春を告げるスマレを見つけました



上の方が手つかず



立ち枯れ伐倒作業中



D4-3・D4-2 奥きれいになった斜面



青梅の森

3本を1本に間伐



綺麗に下刈り、谷まで見下ろす



以上

青梅の森

平成29年3月23日（木）

参加者 12名

天候 晴れ

活動場所 青梅の森・風の子広場

活動概要 二班に分かれて、前回活動した D4.3・D3.2 の間の地域。D3.2 林道下の下刈りと枯損木、倒木整理を行った。D3.2 林道下は急斜面なので健脚チームを編成し安全に留意した作業となった。両スペースとも林道敷設時の倒木が多く、乱雑、整理。倒木はチェーンソーを使い切断、細い枝は人が一つ一つを整理する。

D4.3・D3.2 の間の地域はあと一息でヒサカキの下刈りが終わり一株から複数本出ている木の除伐作業になる。

D3.2 の林道下はもう少し継続作業が必要。

午後は早めに森の作業を切り上げ、風の子事務所脇の杉の木の枝落とし作業を実施。Sさんの木登りステップの講習を受けて、行ったが、意外と手ごわく次回に持ち越す。

自称健脚隊、休憩中



倒木の多い急斜面・慎重な作業を



青梅の森

もう少しで林道とつながります



倒した木の整理作業、丁寧です



Sさんのステップ使用方法講習



青梅の森

虎柏神社の森 活動報告

虎柏神社の森 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	4	21	下刈り・除草 伐倒・除伐	13	
	5	14	篠竹下刈り 除伐	30	新会員歓迎会
	7	9	雨天中止	0	
	8	13	竹灯籠設置 除伐・伐倒体験	23	暑気払い
	9	10	除草・小径木除伐 下刈り 除伐	22	安全作業注意喚起
	11	12	除草 除伐	23	芋煮会
	12	10	除伐	19	忘年会
	12	22	除伐 除草	11	
29	1	7	大径木伐倒	6	臨時活動
	1	14	倒木整理 椎茸原木作り	15	
	1	26	伐倒	10	青梅の森からの変更
	1	28	伐倒	6	臨時活動
	2	4	伐倒	7	臨時活動
	2	10	伐倒	5	臨時活動
	2	23	雨天中止	0	
	3	11	シイタケコマ打ち 総会	25	総会
			出席者累計	215	

平成28年4月21日(木)

参加者 13名

天候 曇り

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 神社向かい側、S地域の篠竹下刈り・除草・植林(移植)班と、参道脇(山側)のヒノキ枯木数本を枝打ちの二班に分かれて作業を行う。

◇篠竹下刈り・除草班

篠竹を刈払機で下刈りを行う、また、神社からの要請により頂上付近の檜の巻がらし(危険が大きいため、安全な場所のみとする。)を行った。

午後はモミジの若木を植林(移植)する。

◇伐倒・除伐班

参道脇(山側)のヒノキ枯木の枝が参道に垂れ下がっており折れると参道を塞ぐので枝打ちを行う。植林後、数本は枝打ちが途中まで行われていたが、3m上部の部分は枝打ちが行われていない。またまったく枝打ちされていない枯木もある。昇降機は幹の直径が50cm以上でチェーンが回らず使用不可、二連ハシゴは足元が不安定で危険、新会員さんが岩登り経験者でロッククライミングの道具を持ちより、この登山具を使用してヒノキ枯木に登り、枝打ちを行った。

昇降機は個人所有、未経験者がいたので直径30cmのヒノキで枝打ちを体験させる。会で所有する必要があるようだ。

その他、山の斜面で斜めに傾いた木を伐倒する。

虎柏神社の森

篠ダケを伐採



巻がらし (枯れた後、倒れても安全な場所のみ行える、他は禁止)



軽快な体さばき (登山用具を使用)



昇降機を使つての作業



参道が明るくなる枝打ち



もみじ植林 (1年間の成長が楽しみ)



虎柏神社の森

平成28年5月14日（土）

参加者 30名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 午前中は整備作業、午後の歓迎会、合わせて30名と大勢の参加。
午前中、歓迎会の準備班と、神社向側の斜面S区画の篠竹を下刈りの伐採、斜面中腹上の除伐班2班の活動、計4班に分かれて作業を行った。
役員は虎柏神社総代会の役員と初顔合わせ・挨拶をして、今後の活動方針や当会からの要望、神社側のご意見を伺いコミュニケーションを図った。

会合では、活動場所の提供と整備が行われていることに対する感謝の言葉がありました。双方にとって好ましい整備の方法や意見を聞くことができ、今後についても神社の要望、森守会の整備計画などの話し合いを毎年行い、進めていくことになった。

*新会員歓迎会は新会員6名中4名の参加、総勢27名で賑やかに行う。

初夏になり草の繁茂増生中



除伐により森が明るくなる



篠竹の下刈り事前の打合せ



篠竹をほぼ伐採



虎柏神社の森

歓迎会始り



自己紹介



手品



新入会員



以上

虎柏神社の森

森守会活動報告

平成28年7月9日（土） 雨天中止

参加者 0名

天候 雨

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 活動中止

虎柏神社の森

平成28年8月13日(土)

参加者 19名+3名(体験ボランティア)+1(見学者)名
ボランティア育成講座サポート 4名

天候 曇り

活動場所 虎柏神社の森

午前中の活動、暑気払いの準備班、(シイタケ原木の本伏せ)、体験ボランティアの除伐・伐倒体験指導班、神社夏祭りの竹灯籠設置班に分かれて作業を行う。午後、18名の参加で暑気払いを行いました。

*午前の体験指導は熱心に12時過ぎまで指導、ボランティアセンターからも職員が参加していただきました。*見学者から入会意向あり。

本伏せ無事完了



竹灯籠今年も立派に設置



体験ボランティア熱心に見学



暑さを吹き飛ばす宴会



森林ボランティア育成講座サポート報告

森守会サポートは4名でした。

育成講座第2回、山の作業は今回から行うことになるので、道具類の使い方、山での

虎柏神社の森

注意事項などを説明、体験活動は小径木の切り方・伐倒を実体験させつつ実地指導する。
以上

虎柏神社の森

平成28年9月10日（土）

参加者 22名

天候 曇り

活動場所 虎柏神社の森

活動概況 残暑厳しい中、22名の参加で活動した。

朝礼で今月の予定説明と、前回の活動で起こった傷害事故報告、安全作業に十分な配慮と注意喚起を指示されました。

3班に分かれ、1班は社務所後ろG地区の南斜面の除伐、2班は谷を隔てた対岸の北斜面S地区の除草と小径木の除伐。3班は南斜面東部の民家に隣接するH地区の下刈り・小径木の除伐作業を行った。

チルホールを使った伐倒作業(1班)



作業後斜面がきれいに(1班)



小径木の除伐作業(2班)



春からこんなに茂りました(2班)



虎柏神社の森

刈り払い機を使って草刈り（2班）



小径木の除伐森が明るく（2班）



作業前に予定の作業を説明（3班）



下刈り作業の様子（3班）



虎柏神社・所有地
森守会・地割図



虎柏神社の森

平成28年11月12日(土) 芋煮会

参加者 23名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要

前日までの寒さがウソのような暖かい陽気での作業でした。

23名の参加で、午後開催の芋煮会準備班・神社向かい(S地区)の除草班・社務所南斜面(G地区)除伐班・その北側(H地区)の除伐班の4班に分かれての作業。

除草班はつる草に悩まされての作業。除伐班はまだまだ民家際の伐採木があり、コツコツと続ける必要あり。

午後は会員の畑で作った野菜を持ち寄って芋煮会を実施。初冬の日を楽しく過ごしました。

今日は入間丘陵で活動しているIさんが見学件研修に来ました。

黙々と刈り払い機を使うWさん(S地区)



伐倒前の周りの整備(G地区)



慎重に打合せの後、受け口作り(H地区)



芋煮をよそうコンビ?(社務所)



虎柏神社の森

こちらでもよそっています



出来上がった芋煮に舌鼓の会員



こちらは本日の調理メンバー



作業エリア

虎柏神社・所有地
森守会・地割図

- 芋煮会場 (社務所)
- 除草(S)
- 伐倒(G)
- 伐倒(H)



九州に引っ越しの K さんを囲んで



以上

虎柏神社の森

平成28年12月10日（土） 忘年会

参加者 18名+1名（見学者）

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 冬ばれの好天のなか、午前中3名は午後の忘年会準備。残り16名（見学者含む）を二班に分けて、神社南・沢向かいS地区の除伐作業を行った。午後は、忘年会・今年参加の新入会員3名も交えてこれまでの様々な経験の交流もあって、楽しく有意義な時間を過ごしました。遠くから見学に来ていただいたOさん、忘年会にも参加していただきありがとうございました。

作業後、きれいな森になりました。



午前の作業を終えました。後は忘年会



今年一年、ご苦労様でした。



虎柏神社の森

虎柏神社・所有地
森守会・地割図

H28.12.10
除伐作業
S エリア



以上

森守会活動報告

虎柏神社の森

平成28年12月22日（木）

参加者 11名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 今年最後の作業は、年末には珍しく暖かい日和の作業でした。

11名の参加者が2班に分かれて、1班は神社向かいのS地区の刈り払い機を使っての除草と除伐。

もう1班は、神社南斜面G地区の除伐と山肌整理。伐倒ではUさんの、器具を使った木登りのおかげで高い位置にロープをかけられ効率よく安全な作業が出来ました。

S地区除伐作業



刈り払い機の威力きれいな斜面



山肌整理作業伐倒木を整理します



冬枯れの林きれいになりました



伐倒中チルホールで引いています（牽引ワイヤーは2本使用）



伐倒木の玉切り



今年最後の作業 道具に感謝



以上

伐倒後の整理です



作業地点（G：討伐、S：除伐）



平成29年1月7日（土）

参加者 6名、青梅りんけん 1名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 森守会のスキルでは難しい大径木伐倒を、青梅りんけんA氏が実施することになり、技術習得を主目的に参加した。
作業は、Gエリア東側で、5本。Hエリアで1本、Gエリア西側で1本を伐倒した。

Gエリア東側では、主伐の前に、伐倒方向整備のため小径木2本の伐倒。
主伐は3本のナラで、切断部の直径は、40cm程度であったが、樹形は、垂直型、および、
谷側への傾斜木、枝ぶりは、概ね谷側に張り出していた。
主伐の樹高は、目測で20m以上と思われた。

Hエリアでは、駐車場に張り出している樹高20m以上のホウの1本で、切断部での直径は
約41cm、谷側駐車場へ傾く傾斜木で、枝ぶりも同様に駐車場へ張り出していた。

主伐の5本は、傾斜方向にある谷側の障害物の為、伐倒できず、いずれも尾根側方向に伐倒。

ノコ入れ前にチルホールで適切に牽引。次に受け口、追い口切りを行ない、牽引を実施。

重心が垂直位置に達するまでは、3～4人の牽引が必要であった。チルホールレバーを後方に

倒す際に、レバーにロープの一端をつなぎ、引くことにより労力が軽減することを教わった。

立木が垂直位置を通過すると、牽引と、適時追い口切りを行い、伐倒。

樹形、立地条件、伐倒方向により、切り口を修正している様子を実地で見学でき、また、

作業準備・後かたづけの迅速さを学んだ。

主伐 {手前・右側2本} [G 東エリア]



伐倒 (左写真の右から2本目のナラ)



牽引索設置 (上写真の右端のナラ)



チェーンソー・フルパワー



伐木 {中央・やや左寄り} [H エリア]

作業終了後のお茶・竹細工 [G 西エリア]

虎柏神社の森



以上

成29年1月14日(土) 黒仁田の森 (育成講座サポート)

参加者 15名(虎柏神社の森)・3名(育成講座サポート)

天候 曇り時々晴れ

活動場所 虎柏神社の森・黒仁田の森

活動概要 今年最初の活動は、日中の最高気温5度で、時折雪のちらつく寒い日でした。それでも会員は、神社での安全祈願に始まって、3班に分かれて、7日に会員6名も参加して檜木の大径木をAさんに伐倒してもらった所・Gエリア東側と西側・Hエリア3か所の倒木整理とシイタケ原木作りを元気に行いました。

育成講座サポート部隊も黒仁田の森での枝打ち作業をする受講生のサポートを青梅りんけんに協力して行いました。

1年間の無事を祈願



(Gエリア東側) 大木の枝



斜面上から3本の倒木を臨む



枝部分は7割方かたづいた



(Gエリア西側) 倒木幹の分割作業を

枝はきれいに整理

虎柏神社の森



写真奥シイタケ原木確保.

虎柏神社の森・作業エリア



育成講座 作業説明

育成講座 枝打ち



以上

虎柏神社の森

平成29年1月26日（木） 青梅の森から、虎柏神社の森に変更

参加者 9名+1名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 集合は風の子の管理棟でしたが、虎柏神社の急遽の要請を受けて、活動場所を移して虎柏神社の森Q地区の除伐・下刈り作業を全員で行いました。
(理由：28日りんけんのAさんに伐倒を神社が依頼した為、その事前作業を行った。)

前日までの寒さが一段落し、風が無く快晴、穏やかで活動日よりでした。
千葉からOさんも参加していただきました。



虎柏神社の森

作業地点地図



以上

虎柏神社の森

平成29年1月28日(土) (臨時活動)

参加者 6名(森守会会員)+1名(青梅りんけん)

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 虎柏神社の要請を受け、虎柏神社の森 Q エリアでの除伐を実施した。

Q 地区 G 地区に隣接する施設からの要請で、落ち葉を少なくするための除伐である。

作業指揮は青梅りんけん A さん、森守会の参加者は A さんの支援作業の体制を取り、A さんが牽引索の取り付け、伐倒口の切り込み、森守会の参加者は、牽引索の設置、牽引、小径木等の整理を行った。

隣地近接のため、ほとんどの伐木は、重心方向の逆の山側になった。

伐倒した樹種は、大部分がナラ、その他少数の松・杉などで、総計26本を伐倒した。

玉切りは、平地に倒したものを行ったが人が搬出できる長さには、時間切れで出来なかった。斜面に倒したもののほとんどは、そのまま留置した。

ビフォー(3本伐倒後・左柵隣地)



アフター(作業終了時・26本伐倒)



いつもと異なるツル幅



作業地点



虎柏神社の森

平成29年2月4日(土) (臨時活動)

参加者 7名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 檜の木の太径木伐採の臨時作業3日目比較的暖かい陽気の中、今日も7名の会員の参加で青梅りんけんA氏の伐採作業をサポートしました。会員所有や虎柏神社のチェーンソーも使って、伐倒の邪魔になる木の伐採、倒した木の枝整理。安全帯を使つての枝落とし作業。そして何よりもの力仕事は、傾いた方向と逆方向への伐倒作業に使うチルホールによる木の牽引作業に汗を流しました。伐倒作業で一本、つるが切れてコントロールを失った木がありました。幸い事故にはならなかったのですが、枝や傾き曲がりなど条件によって危険な状況が発生することを体験しました。伐倒数は、20本でした。

ビフォー(中央やや左、高木)



アフター(倒木後)



虎柏神社の森

アフター(倒木後、切り口)



伐木準備の枝払い



伐倒後の整理作業



アフター(樹径約47cm)



裂けた主幹、ロープ牽引で曲り解放



作業地点



以上

虎柏神社の森

平成29年2月10日（金） （臨時活動）

参加者 5名(森守会)+1名(青梅りんけん)

天候 晴れ

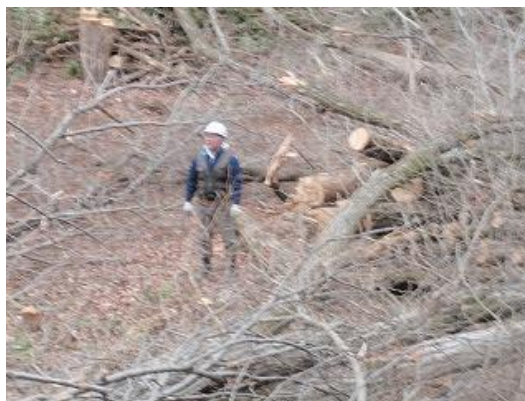
活動場所 虎柏神社の森

活動概要 前回・前々回の臨時活動と同様に、虎柏神社の要請を受けた除伐である。作業手順も同様に、作業指揮は青梅りんけん A さん、森守会の参加者は A さんの支援作業の体制を取り、A さんが牽引索の取り付け、伐倒口の切り込み、森守会の参加者は、牽引索の設置、牽引、小径木等の整理を行った。伐倒材の重心方向は多くは谷側に向いていた。隣地近接のため、等高線上から少し谷側方向への伐倒を行った。重心方向の逆となる山側や、重心方向側への伐倒も実施した。玉切りは、小径木を中心に実施し、枝払いを時間の出来る範囲で行った。伐倒数は、総計18本であった。

伐倒の邪魔になる小径木の伐採作業



倒木に埋まって？整理中



傾きと逆方向への牽引、力作業です



A 氏の巧みなチェーンソーさばき



虎柏神社の森

駐車場から臨む、ずいぶん倒しました



臨時作業一区切りでホッ！



駐車場には前日の雪が残っていた



作業地点



以上

虎柏神社の森

森守会活動報告

平成29年2月23日(木) 雨天中止

参加者 0名

天候 小雨のち曇り

活動場所 虎柏神社の森(予定)

活動概要 前日の天気予報での降雨確率が高く本日の活動中止。
本日は朝から小雨であった。

以上

森守会活動報告

平成29年3月11日（土） 総会

参加者 24名 育成講座サポート 4名 総会 25名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森・社務所

活動概要 午前中は、椎茸櫓木移動班・駒うち班・午後の準備班に分かれての作業。

神社本殿周りの木の一部が倒木の危険があるので業者が伐採に入っている
ので今まで伏せていた所が不都合になったので移動作業をした。

駒うち班はHさんの指導で800個櫓木20数本打つ。

育成講座サポート参加者は、桜の苗木の植樹作業のサポートで午前中、青梅
の森で支柱作り作業の手伝い。

午後は、食事のあと育成講座サポート部隊も加わって25名の参加で総会。

28年度活動の確認と次年度に向けて民有地（竹林整備など）の整備活動も
てがけていくこと、それに伴い「合意書」を地権者と取り交わして、活動の
継続性の確保と責任の明確化を確立することを決定した。

会員から、民有地を手掛けると、無償の便利屋的な扱いを受ける危惧もある
ことを経験から問題提起を受けました。ボランティア精神で活動していく上
での課題になることを会員相互で確認した。

総会議事は、平成28年度活動報告、会計報告、平成29年度の活動計画案、
予算案が提案通り可決され、会則の変更に対し、一部文言を修正することで
可決され、総会を終了した。

その後、これまでの活動の記録写真やTCNの番組（森守会も出演）のDVD
を見ながら交流会で楽しいひと時をすごした。

本伏せ用の馬作り



移動作業、力仕事



Hさんの実地指導



移動終了



交流会、それぞれに楽しそう



以上

作業も慣れて力が入る



総会風景



DVDに見とれてる??



虎柏神社の森

技術向上研修会 活動報告

技術向上研修会 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	9	17	手ノコによる針葉樹伐倒	8	青梅の森
	10	15	チェーンソーによる広葉樹伐倒	7	虎柏神社の森
	11	16	逆重心方向への広葉樹伐倒	4	虎柏神社の森
	12	17	登降機による枝打ち・逆方向伐倒	5	虎柏神社の森
			出席者累計	24	

手ノコに加え、チェーンソーでの作業を始めたこともあり、今年度から始めた活動である。本活動の目的は、山林作業の基本を習得し、安全な森林作業を実施し、会員の技能向上を目的に研修会を実施した。また、講習会や活動で得た技術経験を再確認し、各種手順、実施方法、実行、結果などを検討・実施・評価し、知識・技量を会員相互に高めると同時に、安全性向上を目指した。

特に、伐倒では重大事故の可能性が高いため、次年度でも継続したい。森林ボランティア育成講座修了生以外の会員募集も行っているため、より充実したカリキュラム編成も重要と考えられる。

第一回・技能向上研修会

平成28年9月17日（土） 青梅の森

参加者 8名

天候 曇時々晴れ

活動場所 青梅の森

活動概況

今月より、会員の技能向上を目的に山仕事の中から選択して、重点的に技能学習を行い、会員の技能が上がることを目的に研修会を行う。

ブリーフィングにおいて、本日にを行う研修は、小径木伐倒の基本作業・安全確認・安全作業を学習する、その外力内容を説明、現場に向かう。

現場はD3エリアの林道中央付近の人工林内で行った。

ヒノキの密生林で小径木・針葉樹林帯内の為、伐倒方向や枝が少なく、指導学習が容易に着手できるため、この地を選択した。

研修項目

伐倒前の木の選定（枝折れ・二又芯・枯損木など）、伐倒方向の決め方、ロープの掛け方、受け口の位置の決め方、追い口の決め方、実技で退避場所の確保（周囲の障害物の除去）、受け口の切り方と位置の確認・伐倒方向の確認と修正、安全確認、追い口切り始めの安全確認と笛での注意喚起、伐倒に入り、ロープ牽引の順序と力の掛け方、伐倒を行い、一人ずつ実技で行い、質問に応え、2、3回の伐倒を実習させる。

伐倒木 二股木 樹高約 20m 倒木径約 16cm

受け口・下切り



受け口・斜め切り



受け口・伐倒方向の確認



伐倒完了



追い口切り



抜根の観察



青梅の森 Dゾーン 地割図 (森守会)



第二回・技術向上研修会

平成28年10月15日（土） 虎柏神社の森

参加者 7名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概況

本日の研修は、広葉樹伐倒である。伐倒方向を、かかり木、樹高確認、伐倒方向、周辺の安全性、退避場所の選定を行い、全員での意識共有を図った。

1本目の伐倒木は樹高20mほど、地面高さ1m程度で二又分岐、全方向にかかり木の可能性があり、その中での伐倒方向の選択であった。伐倒後の予想樹頂点を目測で測定・マーキングして作業を開始した。

牽引ワイヤーをかけ、できるだけ高い位置まで上げ、ワイヤーをチルホールで牽引（少し張る程度）する。

受け口、追い口をチョークでマーキングを行い、チームで確認する。

チェーンソーでの受け口切り、追い口切り鋸断個所の修正を加えながら実施。

傾斜が始まったところで、チルホールによる牽引を強め、伐倒を完了。

地響・振動して、牽引方向に正しく倒れる。伐倒木の枝切り、玉切り、整理して作業完了。

落下地点は樹頂で約2mのずれ、樹高は21mで、ほぼ予想通り、切り口直径は約30cmであった。

2本目は、樹高約7mの枯損木。大鋸による伐倒。

3本目は、全方向にかかり木の可能性がある樹高約20mの上部枯損木。受け口、追い口切りはチェーンソーを使用し、燃料切れのため、最後は大鋸による鋸断。

一本目と同様、傾斜が始まった時点からチルホールによる伐倒。傾斜途中には、かかり木（木の先端が枯れた部分）の落下があった。想定方向への伐倒が出来た。伐倒後、伐倒木の隣の樹木上部に枯れ枝の引っかかりを見たが、高所の為、残置。

伐倒木 二又木 樹高約 21m 倒木径約 30cm
伐倒方向確認



牽引用ワイヤー設置



3 本目・鋸断面 (課題有)



虎柏神社・作業地点



以上

第三回・技術向上研修会

平成28年11月16日（水） 虎柏神社の森

参加者 4名

天候 曇り時々晴れ

活動場所 虎柏神社の森

活動概要 第3回技術向上研修会

本日の目的は、チェンソー、くさび、チルホール等を使用した広葉樹伐倒作業を行い、技術向上を図る。

一本目の伐倒は、二又木の未処理木の処理。かかり木にならない方向は、重心のほぼ逆側になるため、方向を確保するためチルホールで牽引することとした。最初に伐倒方向の決定、次に牽引用ロープの設置。根切り、受け口切り、追い口切りを実施。ノコ入れの前に切断面をチョークで示し全員で状況を共有した。くさびを使用し、ロープで伐倒方向確保しながら伐倒した。伐木は切断部で直径約32cm、樹高約22mであった。

2本目は、民家側に傾いた曲木のため、逆方向135度に伐倒することにした。隣木に樹高15m程度でかかり木になるため、2本のロープで伐倒方向を調整しながら作業を行った。伐木は切断部で直径約22cm、樹高約15mであった

今回は、人家・かかり木など制限のあるなかで伐倒方向を設定し、各工程で確認を行いながら作業を実施し、事故・戻り作業の発生がなかったことが成果と言える。

牽引ロープ設置



二又の面影が手前の根切り部分



根切りと受け口

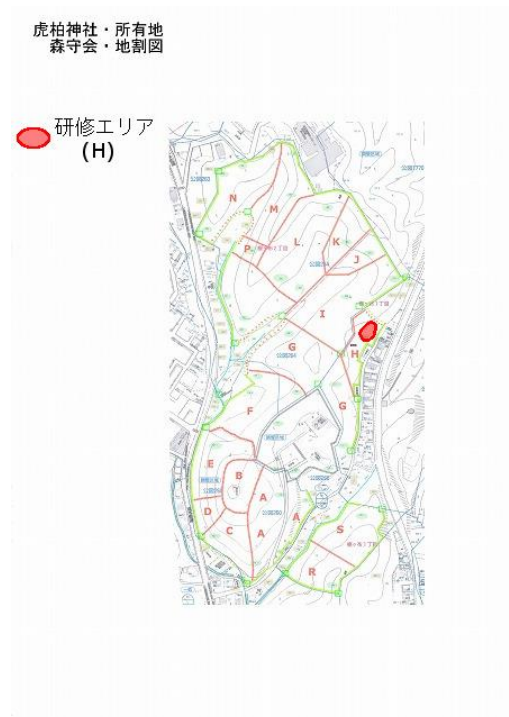


切断部



以上

作業エリア



第四回・技術向上研修会

平成28年12月17日（土） 虎柏神社の森

参加者 5名

天候 晴れ

活動場所 虎柏神社の森 第4回技術向上研修会

活動概要 本日の研修メニューは、午前の枝打ちと午後の伐倒であった。

枝打ちは、河野式登降機の習熟を兼ねたヒノキの枝打ち作業を2名で実施。初期の木登りでは操作不案内により、苦勞をしたが、習熟するに従いスムーズ

な操作ができた。

枝打ちしたヒノキは、胸高周囲長 109cm 樹高約 20m、地上から約 8m までの枝打ちを行った。

午前の作業では、篠竹刈り、及び、チェーンソー操作習熟を兼ねた枯損木(小径木)処理も実施した。

午後の伐倒対象木は、ハウノキで根元直径 44cm 樹高約 23m であった。この木は元々三又木であり、一本のまた木はすでに伐倒済みであった。重心位置が民家側にあるため、逆の尾根側への伐倒を決定し、チルホールによる牽引を強めにし、根切り、受け口切り、追い口切り、チルホールでの牽引による伐倒を完了した。伐倒後は、チェーンソー習熟を兼ねた玉切りを実施。NPO 青梅林研の A さんから伐倒前のチルホールでの牽引力の強め修正などの助言を頂き、大いに勉強になった。

初めての登降機にトライする M 会員



8m 高さに作業する S 会員



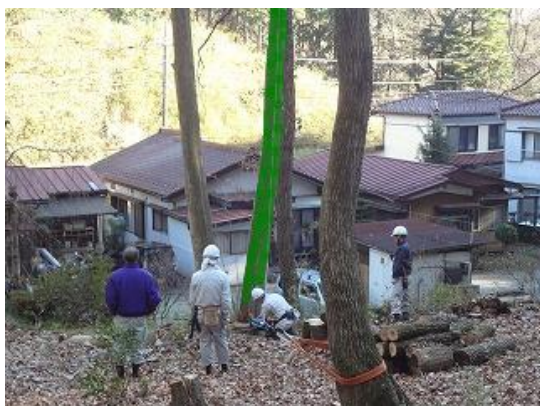
枝打ち完了



伐倒木(緑枠内)



右傾斜の伐倒木(緑線)、受け口確認



オレンジ:切り口方向 青:牽引方向



実習場所

虎柏神社・所有地
森守会・地割図

H28.12.17
研修地点
H エリア



以上

ボランティア育成講座サポート・活動記録

青梅市森林ボランティア育成講座サポート 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	1	開校式	1	
	8	13	注意事項、及び、道具の説明 小径木伐倒	4	虎柏活動報告(8/13) 参照
	10	8	活動記録は不記載	0	
	12	3	竹林整備と炭焼き体験	7	
	1	14	黒仁田 枝打ち	3	虎柏活動報告(1/14) 参照
	3	11	永山グラウンド北 桜植樹	4	虎柏活動報告(3/11) 参照
			森守会出席者累計	19	

ボランティア育成講座

青梅市森林ボランティア育成講座・サポート

平成28年12月3日(土)

参加者 7名(森守会)

天候 晴れ

活動場所 花木園

活動概要 育成講座サポートで竹林整備と竹炭作りの体験活動を行いました。
青梅市と水と緑の会との共同事業で青梅りんけん会員の竹林で整備を兼ねて竹を確保し、花木園まで運んで炭焼き釜で竹炭を作る実演の体験活動です。
窯への火入れまでの体験のあと、水と緑の会の作ってくれた豚汁で昼食。
木やわら、竹や木の実を使ったクラフト作りで楽しみました。

竹林での注意と作業場所分け



竹の元を引っ張って倒す



竹炭作りと竹炭の効用説明



ドラム缶窯にびっしりの割った竹



参加の森守会メンバー

竹の切り方(伐倒)



受け口は竹の下部を水平に1/3ほど切り、斜め切りは行わない。追い口を受け口の上（数センチ）から切る。倒す方向は竹の上部先端を観察、倒す方向を決める。孟宗竹は長い、倒したら根元を持ち上げて移動すると良い。

以上

その他

活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	11	定例会(安全講習)・民家竹林整備	21	
	11	4,5,6	青梅産業観光まつり	10	
	12	6	遊々クラブ(加治丘陵)見学	2	チルホール運用見学
	7	28	青梅の森 D3・D4 植生調査	15	青梅の森(7/28)参照
	5	14	新会員歓迎会	30	虎柏神社・社務所
	8	13	暑気払い	23	虎柏神社・社務所
	11	12	芋煮会	23	虎柏神社・社務所
	12	10	忘年会	19	虎柏神社・社務所

広報

活動日単位の報告をホームページ (<http://www.morimorikai.sakura.ne.jp/>) に掲載。作業予定などをホームページ (<http://www.morimorikai.sakura.ne.jp/notify/notify.html>) ガラ系用 <http://www.morimorikai.sakura.ne.jp/mp/>) および、メーリングリスト(36名登録)によって連絡。

平成28年6月11日(木) 岩蔵竹林

参加者 21名

天候 晴れ

活動場所 青梅の森、岩蔵竹林

活動概要 参加者 21名(男19名、女2名)
男1名(25歳)の新規入会があった。

◆午前中：安全講習会

草刈機の安全使用、広葉樹の伐倒、カカリ木の処理、昇降機の使い方のDVDを見て、山林作業の危険予知を肌身で知って、今後の安全作業が行えるように学習した。

プロジェクターはボランティアセンターから借用、DVDは森守会で購入、準備などを苦労したが、安全に作業を一人ひとりが行えれば苦労も報われるものと思う。

花木園の駐車場に移動、昼食を取る。

◆竹林整備作業

2, 3名で組んで竹林(真竹)の整備を行う。平地より水路側に竹が密集しており難しい作業となった。特に降雪により折れたり曲がったり、上部でクズのツルがからみ、引き抜けない等、困難な作業も多くあった。

真竹は7, 8mの長さがあり、枝払い作業に時間がかかるので思うほど、捗らない。今回、竹林整備は初めての作業であるが、今後は徐々に技量を向上させたい。見た目ももっと片付いた整理できた形にしたかったが何せ初めての竹林で経験が無く、無いために竹の長さに戸惑った感じです。

今回は全体のほぼ3割程行ったが、残り7割はいつ行えるか?検討を要す。

作業前



作業後



地形



平成28年11月4・5・6日 青梅産業観光まつり

参加者 10名

天候 晴れ

活動場所 伝統工芸ブース

活動概要 今年も、5日・6日青梅産業観光まつりが行われ、森守会も伝統工芸ブースの林業部門の活動に参加しました。

担当は、丸太切りサポートで、祭り参加者に杉、檜、の丸太を2か所で切っていただき、林業の一端に触れていただく活動をおこないました。

4日の準備に3名、5日は4名、6日は3名の森守会会員参加で、5日、6日両日とも天候に恵まれそれぞれ150名以上の参加者のサポートをしました。

このブース向かって左で活動中



一日目・女の子に盛んな声援のAさん



一日目・Sさん絶妙なサポート



二日目・子供らが楽しそう



二日目・親子の奮闘を見守る T さん、Y さん



二日目・初めての挑戦?! うまいね



以上

森守会活動報告

(今回は入間市で整備を行っている遊々クラブの活動を見学してきました。)

平成28年12月6日(火曜日) 遊々クラブ

参加者 2名(森守会)

天候 晴れ

活動場所 加治丘陵・農村環境改善センター横の山林
(青梅から入間へ続く茶畑の北側丘陵、活動場所の近くには桜山展望台)

活動概要 加治丘陵で活動する山林管理ボランティア・遊々会のチルホールの導入に伴い、チルホールの安全ピン・牽引ワイヤーの取り付け・牽引操作などの説明、使用方法などの体験操作を行った。

松の密集林中で中径木・小径木の混在林のため、かかり木になる環境なので、チルホールによる伐倒は有効となり、また、今後の安全性、作業向上が期待できる。入間市から提供されたミーティング小屋(山林管理事務所)が使用でき、物置小屋の設置場所が提供されており、現場も近いため道具を持って入るのも容易でした。

現場



スリングベルト(赤部分)



ワイヤー確認



受け口切り



ミーティング小屋 (ボランティア)



各種団体の物置群 (7団体の物置)



以上

柚保プロジェクト・活動記録

柚保プロジェクト 活動一覧					
活動日			活動概要	参加人数	その他
年	月	日			
28	6	3	北谷津 ヨシ刈り	4	(総勢 10名ほど)
	8	2	永山、青梅の森 B4 ホダ木移設	3	(総勢 10名ほど)
	9	30	北谷津 ヨシ刈り	4	(総勢 15名)
	11	28	北谷津 ヨシ移設	2	(総勢 7名)
			森守会作業累計	13	(総勢 44名ほど)

活動

主作業は、青梅の森北谷津の水田跡でのヨシ刈りを行った。ヨシの皆伐作業は進まず、例年通りヨシ畑の様相であった。本年、重機投入した結果、ヨシ駆除の進捗は見られるものの作業者としては、つらい思いが残る。

ヨシ駆除を効率的に行う作業方法を柚保プロジェクトで決定されることを希望する。

- 例) 丈が伸びる前に、一定インターバルで、少人数で刈り払い機を投入する。
 効率よくヨシ刈りが出来るのではないか。
 本年度の作業エリアであれば、ヨシ皆伐で良いのではないか。

森守会活動報告

平成28年6月3日（金） 北谷津

参加者 4名

天候 晴れ

活動場所 柚保プロジェクト北谷津

活動概要 柚保プロジェクト青梅の森整備作業の一環として、北谷津の湿地回復作業（葦の根ほり）を、他の参加団体とともに総勢12名で行った。作業時間は9時半から11時半。

市役所のほうで、小型の重機(コマツ PC10UU)を都合つけたので、作業が進んだ。作業エリアは約18平方メートル(歩測)。

人海戦術の作業も昨年の効果と作業になれたこともあり思いのほか進んだ。とは言っても、照りつける太陽とぬかるみで、汗まみれどろまみれの作業だった。写真「人海戦術、苦闘」の後、同写真に見える左下半分と隣接するあぜ道部分の刈り取りを行った。

作業前



ミーティング



重機投入



人海戦術、苦闘



柚保プロジェクト

森守会活動報告（柚の保合同作業）

平成28年8月2日（火） ホダ木移設

参加者 森守会3名

天候 曇り

活動場所 永山ふれあいセンター、および、
青梅の森B4ゾーン東端(虎柏神社入り口の西側)

活動時間 9時～10時

活動概要 永山ふれあいセンター北側隣接地にて仮伏せしたシイタケのホダギを青梅
の森B4ゾーン
東端にて本伏せ(約30本)する。
コマ打ち参加者の希望者は一本持ち帰り。

ふれあいセンター北部隣接地



左上部が今回のホンプセ、手前は前回分



柚保プロジェクト

森守会活動報告

平成28年9月30日（金） ヨシ刈り

参加者 森守会 4名（総勢15名）

天候 曇り

活動場所 青梅の森 Cゾーン(北谷津)

活動概況 柚の保プロジェクトでのヨシ刈りを実施。
三機の刈払い機、及びカマによるヨシ刈りを実施。
午前中で予定範囲の刈り取りを終了。

本日の作業した範囲の地権が明確になり、青梅市有地になった。
今後、柚の保プロジェクトで整備計画を確定していく予定。

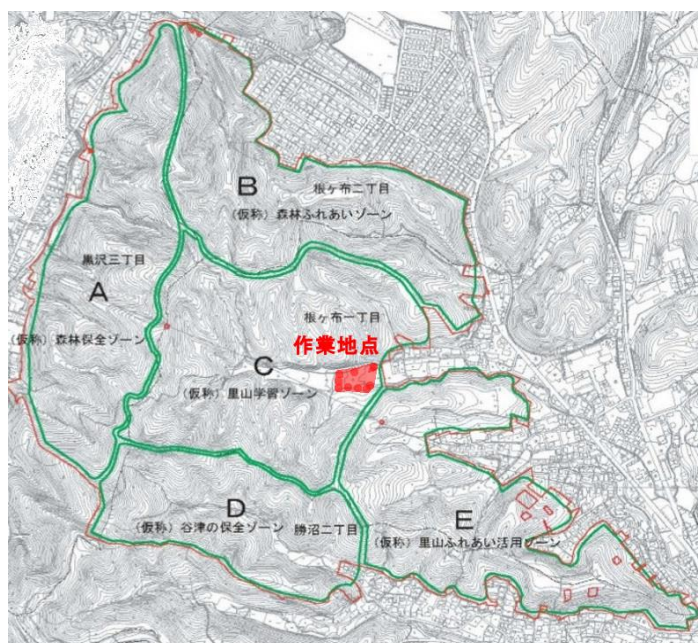
作業 前



作業 中盤



作業 終了間近



以上

柚保プロジェクト

森守会活動報告

平成28年11月28日（月） ヨシ活用

参加者 森守会2名（総勢7名）

天候 曇り

活動場所 青梅の森 C-1ゾーン 土場

活動概要 平成28年9月30日の柚の保プロジェクトで刈り取りしたヨシをカブトムシ等が繁殖しやすくするために、堆積場所に移動させた。移動させたヨシが腐食し、カブトムシなどが繁殖する場所となる。カブトムシの幼虫を捕食する小動物も集まってくる、とのこと。

一時保管中のヨシ



堆積場所に設置した竹柵

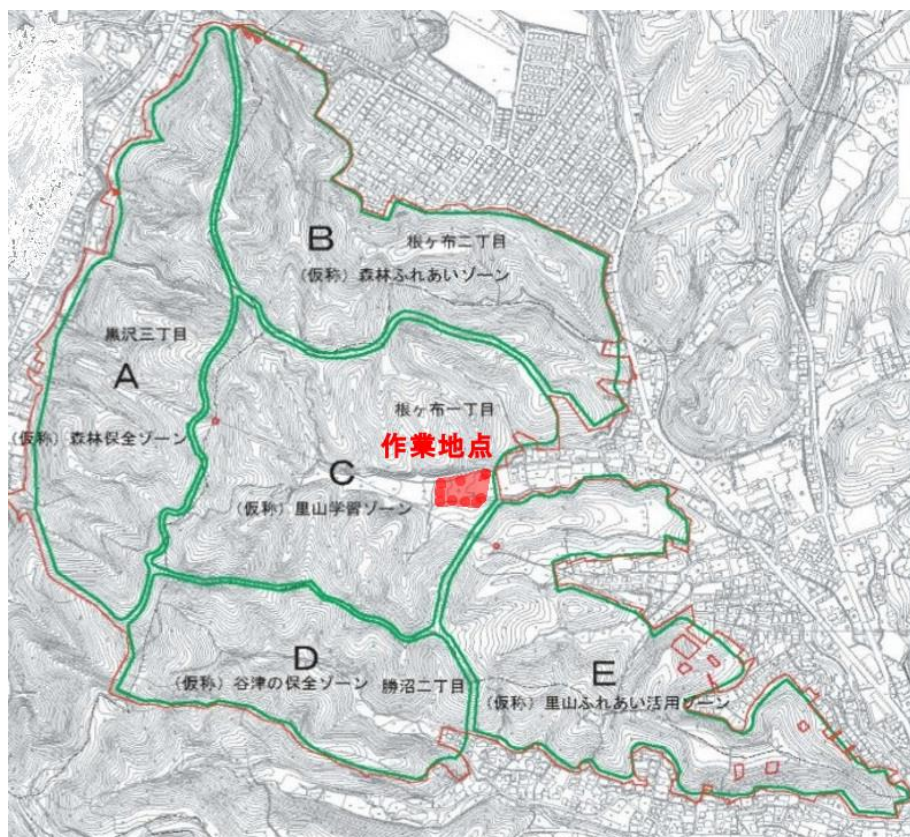


ヨシをトラックから竹柵内に搬送



本日の作業完了





以上